

# 福祉サービス第三者評価結果

## ① 第三者評価機関名

保健情報サービス

## ② 施設の情報

名称： 大和保育園	種別： 保育所
代表者氏名： 施設長 永江 浩庸	定員（利用人数）： 120名
所在地： 鳥取県米子市淀江町中間586-2	
TEL： 0859-56-2203	ホームページ： <a href="https://www.med-wel.jp/yamato/">https://www.med-wel.jp/yamato/</a>
【施設の概要】	
開設年月日 平成27年4月1日（法人移管）	
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会医療法人 仁厚会 理事長 藤井 一博	
職員数	常勤職員： 23名 非常勤職員 14名
専門職員	保育士 16名 保育士 5名
	看護師 1名 保育補助 5名
	管理栄養士 1名 調理師 4名
	栄養士 1名
	子育て支援員他 4名
施設・設備 の概要	保育室 6部屋 遊戯室 1ヶ所
	プール 1ヶ所
	バス 1台

## ③ 理念・基本方針

### 施設理念

- ・子どもの安心・安全を守り、保護者、地域からも信頼される保育園を目指します

### 施設方針

- ・一人一人の人権を尊重します。
- ・子どもたちが心身共にすこやかに成長する保育環境に努めます。
- ・コンプライアンスの遵守に努めます。
- ・健全な施設運営に努めます。

保育目標：『豊かな心を育み、自立へと導く』

- ・健康な身体をつくる。
- ・自分の思いが伝えられる。
- ・豊かな感情を育む。

#### ④ 施設の特徴的な取組

- 法人として組織的経営分析により運営している。保育体制を国家基準より増員し、人的環境の充実を図っている。また資格取得・実習生受け入れによる効果的運営を中長期的展望の中、組織的に推進されている。
- 人権教育、障がい児保育、延長保育、一時保育を地域の状況に応じ行われている。
- 公民館が隣接していることを生かした、地域との連携協力を推進されている。
- 日本財団からのバス（18名）が昨年度寄贈され、地域へ出かける機会を増やすことによる保育の充実、高齢者施設の行事会等へ参加し、地域交流が図られている。

#### ⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 29 年 6 月 6 日（契約日） ～ 平成 29 年 11 月 日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	1 回（平成 年度）

#### ⑥ 総評

##### ◇特に評価の高い点

大山を眺望し、上淀廃寺遺跡など古来より伝承のある田園地域に立地し、以前から人権教育の活発な地域である。平成 27 年 4 月米子市公立保育園から移管した木造のゆったりとした園舎、園庭で地域連携を積極的に図り保育されている。

●社会医療法人仁厚会として将来を展望した経営分析を行い、組織的に中長期計画を見直し保育体制の充実、職員の処遇改善、設備整備、地域連携を積極的に推進されている。特に保育体制の充実や資格取得による効果的運営を長期的展望に立ち、組織的積極的に推進していることは注目したい。

- ・保育体制の充実として、常勤職員配置を国基準より増員し、常に子どもの様子を把握した 2 名体制で保育している。男性正規職員の配置を積極的に行われている。
- ・子育て支援員、救命救急法、接遇、大型バス運転等資格取得を推進し、施設内職員の能力増進や資格取得による長期展望による効果的運営を組織的に行われている。

●保護者からの問題解決について、園長を中心に組織的な早期対応が周知徹底してい

る。移管当初に比較し、保護者の信頼も得ている。毎週クラスで職員会を実施し、保育の質の向上や保護者対応など問題解決への意識をもたれている。

●淀江地区は以前より人権教育が活発な地域であり、挨拶や感謝の言葉、居力する姿が地域ぐるみで自然にみられる。施設長は地域の人権協議会の会員となり、職員啓発や取組を行われている。

●校区の連携や合同の地域行事、地域との連携協力を積極的に取り組み、郷土愛も育んでいる。隣接が公民館の立地条件を生かし、地域主催の七草粥の会を行っている。今後、月一度のクッキングは公民館利用を検討しており、地域との連携協力の推進を積極的に行おうとしている。また、上淀廃寺遺跡周辺に彼岸花を植えるプロジェクト等地域を美化する運動に参加し、郷土愛を育んでいる。

●実習生の受け入れの他にも、研究実習等も積極的に受け入れている。

◇改善を求められる点

●給食について

給食について、米子市担当者による共同献立表を実施されている。保育所での食育を重要視する中、野菜を中心とした一汁二菜となっているが、見た目にも寂しい印象を受ける。保育園として週2回は果物を出し、彩りや満足感を工夫している。根本的に保育所給食の意味を踏まえ、栄養、彩、季節感等五感豊かで子どもが楽しみにする献立の改善が急務である。月1度のクッキングを地域で初めて実施する予定であり、他の保育所への波及に期待したい。

●衛生管理について

トイレの衛生管理について、子どもの使用する範囲だけでなく、汚物槽や汚れ物管理など感染症対策やトイレ衛生管理に対する意識を高く持ち、環境整備に今後強く期待したい。また、排泄後の紙パンツ等をはく場所などについて、衛生面と感染防止の検討が望ましい。

0歳児の排泄やシャワー、おむつ交換が一か所で出来ないため、職員が目が行き届かない現状がある。高いおむつ交換台での寝返りへの配慮や身体の確認の明るさ等、今後の環境整備に期待したい。

●保育所の理念・保育方針について

現在、保育士主導のもと必要に応じ遊具、玩具をだし個性を育てる保育が展開されている。保育所の理念・保育方針に基づき保育環境の整備、書類内容の見直しなど今後継続して検討し、個々の子どもの発達や意欲を促すような遊具や玩具、素材など、日頃自由に子どもが活動できる遊びの環境や内容の配慮にも今後大いに期待したい。子どもが安心して遊びを中心とした興味関心のある活動について、主体的に継続性をもって取り組めるような環境を整え、保育士等がかかわることにも期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設のコメント

今回、初めの第三者評価を受けることで、職員自身も日頃の仕事のあり方、活動、実践の方法について、改めて見直すことができるとともに、仕事の質を高めることの自覚も再認識できたと思われます。

良い評価を頂いた点については、今後も維持しながらさらに質を高めるように努めて参ります。また、検討を要すると指摘を頂いた点については、職員で課題を共有しながら、遅滞なく改善を図ってまいります。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

## 第三評価結果（保育所）

### 共通評価基準（45項目）

#### 評価対象Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

##### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>理念、保育目標、保育方針を明文化し、玄関、職員室、保育室に掲示し、理念を朝礼で復唱する等、理念等を理解、意識しながらの保育に当たられている。</p> <p>保護者へは、入園時に「入園のしおり」を使用して説明し、その後も保護者会・園だより等、年3回それぞれの内容について周知されている。</p> <p>地域へはホームページを通じて知らせている。</p>		

##### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎月幹部職員による経営環境と経営状況の把握や分析を目的とした会議が開催されており、毎月経営分析等が行われている。</p> <p>内容は、職員にも資料を回覧し、職員会議で報告されている。年度当初職員説明を法人本部や施設長より説明されている。</p>		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育所職員は施設長の説明を聞き、予算や事業の分析結果を基に実際に保育に当たられている。</p> <p>中・長期計画策定や目標を達成するための経営改善等、法人本部と連携しながら、報告書等を通し具体的に的取り組まれている。それによる幹部職員の意識改革に取り組まれている。</p>		

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>5年先までの具体的な中・長期計画が立てられており、職員にも説明されている。</p> <p>園として保育所民営化後は、米子市の方針も踏まえながら対応されている。毎年、事業計画立案において、中・長期のビジョンと計画を、毎月の委員会で課題を検討し、事業を推進されている。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>中・長期計画を踏まえ毎年事業計画を立案されている。幹部職員は理解されているが、単年度計画と中・長期計画の関係性について、全職員が共通理解ができていない部分もあり今後期待したい。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年度当初単年度計画の説明会を職員会で実施されている。保育所の年間計画は主任を中心として作成され組織的に運営されている。保護者会役員アンケート等を参考に組織的に継続して事業の実施、評価の結果に基づき事業の見直し作業も行われている。各クラス代表の職員会議で事業の評価反省を行い次の事業実施に組織的に取り組まれている。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>行事内容については、行事一つひとつの主な狙い等を説明し保護者に周知することが望ましい。毎月の園だより、行事ごとのクラスだより等でも事前に保護者に知らせている。保護者の意見は次年度の参考にされている。</p>		

## I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年3回個人面談を実施、クラスは毎週主担任を中心として運営を話し合い、クラスの状況や課題を職員会で明確にされている。早い対応を検討するようにされている。</p> <p>年度初めの職員会で全員の目標を周知し、園全体で支援する体制が取られている。また、個々の問題点を明確化し支援することによって質の向上が図られている。</p> <p>研修の報告等が文書回覧や職員会で報告され実践に生かされている。</p> <p>要支援の子どもが増加し支援の方法について、関係機関との連携が必要となってきた現状を踏まえ、子どもへの言葉がけや書類の書き方、接遇、公開保育等外部講師を招く等、園内研修に重点を置きながら、指導を受け質の向上が図られている。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>役員会を通して保護者の意見を聞かれたり、アンケートや自己評価等の結果を話し合い評価は行われているが、分析や文書化はあまり出来ていない面も見受けられる。今後は一層評価結果にもとづき組織的・計画的にしていけるような体制作りが予定されている。</p>		

## 評価対象Ⅱ 施設の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職務分掌で施設長の役割等については文書化され、職員会等で日常的に伝え、職員にも周知されている。</p> <p>有事の際、役割分担も明確にされており、不在時の権限委任の体制も構築出来ている。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>遵守すべき法令等を正しく理解し、研修等に積極的に参加するよう心掛けておられ、知り得た情報については、職員へ周知されている。</p> <p>各種マニュアル関係書類等が一冊にまとめられ、何時でも閲覧できるように事務室に設置されている。表現について理解できていない職員もあり、更なる周知が望まれる。</p>		

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>PDCA サイクルに基づく福祉サービスを実施されている。職員会議を中心に書類の書き方や子どもへの対応等、質の向上につながられている。</p> <p>職員や保護者が相談しやすい雰囲気があり、保護者からの意見に対しては早急に対応するシステムが構築されている。その為か移管当初聞かれた保護者からの不安や意見は聞かれなくなっている。</p> <p>職員からの信頼も厚いので、今後保育理念、方針、目標、保育内容、環境整備等について、その必要性を再検討し、更に保育の質の向上を目指し、保育等のあり方を検討されることに期待したい。</p>		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園を取り巻く環境や地域における園のあり方等、経営分析、改善、業務の実効性は施設長含め法人本部と連携し推進されている。</p> <p>待機児童や一時預かり等は、米子市からの移管と言う事もあり、米子市の状況に合わせ検討を常に行われており、幹部職員は把握されており、方針を話し合われている。</p>		

## II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>具体的な中・長期計画に基づき、職員の職場体制の配置基準以上の増員、正規雇用、資格取得の推進等、人的環境整備を整えるべく人材確保が行われている。</p> <p>人材定着の面に於いては、人的環境整備を実施しつつ、各種研修や福利厚生面の充実が図られている。</p> <p>園としては、募集、学校訪問されていないが、法人本部で求人募集や学校訪問等が行われている。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人全体で人事考課制度が導入されており、基準等も明確化され、職員にも周知されている。</p> <p>園に於いても、年3回園長による職員面接が実施されており、個人目標の達成状況、希望や日々の保育内容等の確認、評価が行われている。</p>		

Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事務方で職員の有給休暇の取得状況や希望の把握等対応されている為、有給の取得ができている。短時間休暇、育児休暇、介護休暇等も就業規則に則り取りやすくされている。</p> <p>大きい行事の後、全体職員会議を実施する場合等、時間外勤務対応が年3回程度あるが、職員会は勤務内に実施し、ワークライフバランスに留意した働しやすい環境を保育園全体で確保されている。</p> <p>福利厚生面も充実しており、健診、インフルエンザの予防接種、ストレスチェック、腰痛予防体操が行われている。互助会もあり親睦活動や職員旅行も実施されている。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員一人ひとりに対して個別面接が年3回実施され、期首面談で目標設定し、中間面談、そして期末面談に於いて1年を通しての目標達成度を確認されている。</p> <p>保育指導計画作成、個人記録記載方法や保育場面等でのアドバイスや支援をグループリーダー、主任、園長が行い、質の向上を組織的に取り組まれている。</p> <p>日常的に、職員は施設長に意見を聞き、様々な意見を参考にされている。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員の教育・研修に関する基本方針や計画については 法人本部の人権・教育委員会で検討し、策定されている。</p> <p>管理、人権、接遇等のテーマで実施されている法人の研修により人材育成が図られている。研修報告は、復命の文書回覧、職員会議等での報告など状況に応じて実施されている。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>研修は全職員が行けるよう希望通り日程を調整されおり、一年間の研修日程等は園長・主任保育士が調整している。</p> <p>初任者研修、階層別研修、リーダー研修等経験年数に応じた研修プログラムが用意されており、管理されている。</p> <p>また、個人の資格取得にも力を入れておられ、情報提供や参加費の面で協力して頂ける場合もある。</p> <p>特に新人研修に於いてはOJT表を利用し新人教育に努められている。</p>		

II-2-(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>実習マニュアル（手順書）に沿い、園長が担当者として対応されているが、実習生等の受入れに関しての体制について、職員によって共通理解が不足している面も見られるので更なる周知を期待したい。</p> <p>地域との密着度が高く、保育園が協力体制を整えられていて、幅広い依頼に対応する姿勢がある。</p> <p>本年度に於いては、通常の保育の実習生とは別に、東京農大の研究室による研究の受け入れが行われた。「ダンゴ虫と子どもの関わり」についての研究に1ヶ月積極的に体制支援された。互いに学ぶところがあり、成果が得られ、報告書が出来上がってくれば、園のホームページにも載せられる予定である。</p>		

### II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ホームページや広報誌で公表されている。</p> <p>法人や保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。</p> <p>園の活動や行事についても、随時ホームページ等に掲載されている。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育所における事務、教材等の予算などについては職務分掌と権限・責任が明確にされている。運営面について、法人管理のもと実施されており、事務関係については、職員全体への周知が不足している面も見られるので更なる周知を期待したい。</p> <p>会計処理については、法人本部で一括して行われ、園についても法人本部を通し、専門家によるチェックや助言を頂かれている。法人内部監査実施し、定期的に確認されている。</p> <p>第三者評価については、今年度初受審された。</p>		

## II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>公民館と隣接しており、公民館を中心に地域との関わりを多く持つ事が出来、子ども達も交流を深めている。公民館祭や七草粥など公民館行事、ひまわりの種植えや彼岸花プロジェクト等の地域の主催する行事や祭り等へ参加されて交流をされている。</p> <p>老人福祉施設との交流も行われている。</p> <p>日本財団からのバス（18名）が28年度寄贈され、地域へ出かける機会も増え、地域との交流が広がってきている。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ボランティアの受け入れ、手順マニュアルに沿いボランティア活動、申込書類、オリエンテーションを園長が対応されている。主任保育士を含め複数の職員で対応できるよう今後の広がりに期待したい。</p> <p>地域の学校教育等への協力や交流を図る視点で、中学生とのふれあい体験、おもちゃで一緒に遊ぶ等、年3回程度継続的且つ積極的に対応され、支援が行われている。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関との連携が適切に行われている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>関係機関ネットワークが構築は文書化されている。職員配布をしているが、内容の周知が不足している面もあり今後期待したい。</p> <p>園として介入が必要な園児については、障がい児の場合小児療育センター、虐待等権利侵害が疑われる園児に対しては児童相談所と連携するようにされている。</p> <p>淀江中学校区の保小中の教育関係者連絡協議会に参加し連携が図られている。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>一時保育や休日保育は希望保育としており、保護者の希望には沿うようにされている。特に一時保育と休日保育は在園時以外の受入れも行われている。</p> <p>子育て支援等の相談依頼によりその都度園長が対応されている。</p>		

27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>福祉ニーズの把握は米子市子ども・子育て支援事業計画を参考にされているが、福祉ニーズの把握までにはつながっていない場合もある。</p> <p>隣接公民館との連携を深めながら、地域の方の福祉ニーズの把握に努められている。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施

### Ⅲ-1 利用者本位の養育・支援

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した養育・支援提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園の保育方針を基本にされており、同和教育を含めた人権についての意識も強い。</p> <p>「子どもの目線で話す」「不安定な子どもは、膝に抱いて対応する」など日常的に意識されている。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した養育・支援提供が行われている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>プライバシー保護や虐待防止マニュアルが整備されている。</p> <p>園の設備面でも、子どもが着替える時（発育測定、水遊び等）は着替えが外部から見えないようにカーテンをしたり、テラスの目隠しを付ける等配慮されている。プールの時のシャワーも同様に配慮されている。年長児クラスのトイレはドアが設置されている。子どものプライバシー保護への配慮と工夫が見られました。</p> <p>しかしながら、着替えは一緒にされており、今後年長児クラス等についてはプライバシーの配慮に期待したい。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ホームページの掲載や見学希望の家族に対しては、積極的な受入れされている。</p> <p>次年度の入所に向け、8月頃から見学者が来られており、見学は随時受け付けている。</p> <p>一時保育や休日保育で対応されている。</p>		

31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更において利用者等にわかりやすく説明している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>入園の為の面談の折、重要事項説明書を使用し説明され、入園式の時に入園のしおりを使用し説明される。</p> <p>進級時（年度替り）には、年度当初の保護者説明会に於いても説明されており、玄関掲示にてお知らせされている。また、進級に伴い変更となる点をクラス懇談や文書を発行し説明されている。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>変更先から連絡があれば対応されており、特に気になる事柄については連絡することがある。</p> <p>変更による園の利用終了後でも、引き続き相談できる相談窓口が設置されており、担当者も配置されている。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 子どもの満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年1回12月に保護者アンケートが実施され、利用者満足度調査が行われている。アンケート集計及び分析結果、そしてその分析結果から見えてくる改善課題への対応策を保育園の回答として保護者に配布されている。</p> <p>子どもや保護者の利益や満足に繋がるよう、保護者意見を傾聴し過去の例によらず、常に見直しを行っている。</p> <p>子ども達の満足度については、保育士や栄養士の日々の関わりの中から把握するよう努力されている。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>苦情相談責任者、苦情受付担当で構成された園内苦情解決委員会、仁厚会西部圏域苦情解決委員会や第三者委員が設置され、苦情解決の体制は構築されており、マニュアルも整備され職員にも周知されている。</p> <p>苦情の対応については、職員の内部研修も実施されている。</p> <p>保護者に対しては、重要事項説明書や入園のしおりを使用し説明されており、園内にも掲示されている。</p> <p>玄関に意見箱の設置もされているが、直接職員に話されることの方が多い。</p>		

35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>送迎の時、各保護者はクラスの部屋まで上がられるので、担当保育士と話がしやすく保護者が意見を述べやすい環境となっている。</p> <p>相談や意見を述べやすいよう、玄関の意見箱、年1回の保護者アンケート、個人懇談等が用意されている。</p> <p>いつでも話し合いの機会が持て、話したい相手も選べる旨を保護者には日頃より伝えられている。相談に使用できる場所（多目的室）も準備されている。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>苦情解決マニュアルも作成され、それに沿って迅速に対応される。</p> <p>頂いた相談や意見は、苦情解決委員が中心となり、組織的に検討され対応策を決定される。また、内容によっては、法人の苦情処理委員会に報告し、第三者委員の助言をもらい保育所運営に生かされている。</p> <p>対応策については、回答を記載した文書を発行や掲示される。個別対応が必要な場合には、保護者と直接話し合いの機会を設けるなど迅速に対応されている。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な養育・支援の提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な養育・支援の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>安全管理マニュアルが作成され、事故発生簿やヒヤリハット報告書を見た人が報告内容を回覧し、見直しが図られている。</p> <p>安全委員会で、毎日9時出勤者が建物・遊具等の設備点検票により毎日1回実施されている。</p> <p>年度当初エビペンの指導を受けられている。</p> <p>飲み薬の指導報告書が実施され、より安全な支援が図れるよう担任会で職員への周知が図られている。</p> <p>送迎者が違う場合は対応について、ロールプレイを実施されている。送迎者が違う場合は、連絡ノートの確認や保護者への確認が行われている。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>感染症予防と対応マニュアルが作成されており、職員へ周知されている。</p> <p>看護師を中心に嘔吐処理研修も実施されている。</p> <p>3ヶ月に1回保健だよりを配布が行われ、感染症等が流行している場合には、玄関掲示等を行い保護者に早期対応を呼びかけている。</p>		

39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>災害時の対応マニュアルが作成されており、毎月様々な想定（火災・津波・地震・大雪・大雨）で避難訓練が実施され、消火訓練も実施されている。災害時の備蓄も用意されている。</p> <p>年に1度、救急救命講習も実施されている。</p> <p>津波発生の可能性のある場合の2次避難場所がやや遠方のお寺のため、今後検討していく予定である。</p>		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育課程をもとに保育についての標準的な実施方法が定められている。</p> <p>マニュアル等の整備を基に業務標準化しており、個別の留意する内容については、個別支援計画や保育記録の確認により標準化されている。気になる子供についても個別支援計画の確認で標準化されている。</p> <p>どの保育士が担当しても同一レベルの保育サービスが受けられるようになっている。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育課程、各種マニュアルは、年1回見直しをする機会が設けられています。</p> <p>支援計画に則った週案、月案については、各々1週間ごと、1ヶ月ごとにクラスで振り返りが行われ、見直しが必要な場合には見直されている。園長、主任保育士、リーダーがそれぞれの実施方法について確認され、アドバイスされている。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもと保護者の状況やニーズを正確に把握するため、年度初めの状況やニーズを保護者に記載してもらわれる。</p> <p>個別面談も実施され状況やニーズの把握に努められている。</p> <p>それに基づいて園児一人ひとりの発達に応じた個別指導計画やクラス等の指導計画が策定されている。</p> <p>0歳（毎月） 1・2歳（4期） 3～5歳（4期）アセスメントに基づき計画を策定されている。</p>		

43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>0歳児は月単位で個別指導計画を評価・見直し、1～2歳児は3ヶ月単位で個別指導計画を評価・見直しが行われています。3歳児以上はクラスで3ヶ月単位評価で行い指導計画の評価・見直しが行われます。</p> <p>緊急に計画変更が必要な子どもの場合評価時期に関係なく見直しが行われる。</p> <p>年間計画・月案・週案については適切な時期にリーダー、主任保育士、園長が確認し、アドバイスや指導を行ない組織的に評価・見直しが行われている。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育サービスの実施の記録は皆で共有されている。伝達の必要な事項等は、口頭で引き継ぎされている。</p> <p>職員会に於いて情報共有する仕組みが確立されています。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>記録の保管、保存、廃棄に関するマニュアルが作成されており、それに則り、個人情報に係る記録等は鍵のかかる事務所で、記録管理責任者のもと正しく管理されている。1年間終了後、所定の保管場所にて保管される。</p> <p>個人情報保護規定も作成されており、職員にも周知されている。</p> <p>個人情報の取扱いについて、保護者に対しても説明され、同意を得られている。</p>		

## 内容評価基準（20項目）

### A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>理念、保育の方針、目標に基づき、毎年全職員で保育課程の編成をされている。</p> <p>毎週のクラス会議で話し合い、評価・見直し、改善をされ、職員会で共有されている。</p>		

A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような環境を整備している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>木造のゆったりとした建物で室内の温度、湿度等は不快指数表を活用し、適切な空間作りを意識されている。子どもの表情も明るく、保育室、廊下、トイレ等、きれいな環境で、空調設備等も整備されている。</p> <p>衛生面の改善点はあるが、全体的に保育者の設定の中で、目の行き届く範囲で個々の個性を生かす保育が展開されている。</p> <p>子どもがくつろいだり落ち着ける家具や遊具の素材や配置等を工夫し、心地よく安心して過ごせる環境を作ることに期待したい。</p> <p>トイレの衛生管理について、子どもの使用する範囲だけでなく、汚物槽や汚れ物管理など感染症対策やトイレ衛生管理に対する意識を高く持ち、環境整備に今後強く期待したい。排泄後の紙パンツ等をはく場所などについて、衛生面と感染防止の検討が望ましい。</p> <p>0歳児の排泄やシャワー、おむつ交換が一か所で出来ないため、職員が目が行き届かない現状がある。高いおむつ交換台での寝返りへの配慮や身体の確認の明るさ等、今後の環境整備に期待したい。</p>		
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育士の配置を基準より多くし、子どもの様子を把握しゆったりした環境を配慮されている。</p> <p>子ども個々の状況を把握し、職員間で話し合いながら関わっているが、不十分と感じている職員もおられる。</p> <p>保育士の主導の基、子どもの様子を見ながら一人ひとりの子どもに合った環境作りに配慮されている。</p> <p>米子市巡回指導を受け個々にあった支援を園内で周知されている。</p>		
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>食事・排泄・睡眠・衣服の着脱・清潔等の基本的な生活習慣を身に付けられるよう配慮した保育環境が整えられている。</p> <p>園の方針として「子どもの発達に合わせ基本的な生活習慣が身に付けられるよう、9時登園を勧めている」保護者と協力し、基本的な生活習慣の習得について主体性を尊重している。</p> <p>保育内容も活動と休息のバランスを取りながら展開されている。</p>		

A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>一般的にきれいに片付けられており、生活や遊びで必要な内容は保育者がその都度用意されているが、その中から子どもが主体的に活動できる環境を整備し、生活や遊びを豊かになるよう工夫された保育が展開されている。</p> <p>散歩で自然や地域の方と触れ合えるよう散歩の機会を多く取り入れている。</p> <p>園のバスが昨年から利用できる体制となり、地域へ出かける機会を増やすことによる保育の充実が一層図れるようになった。</p>		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個々の発達に応じて離乳食を進めており、連絡ノート等で保護者との連携を密にされている。</p> <p>室内の端に遊具が数種類吊るしてあり、長時間過ごすことに適した遊びの環境が整えられている。</p> <p>手作り玩具や遊具も用意され、状況を見ながら興味と関心を持つ遊びを展開されている。</p> <p>子どもの表情を大切にし、一人ひとりの子どもの状態に沿って個別の指導計画と記録がなされている。</p> <p>愛着関係を育み、発達に応じた生活と遊びが展開できるよう保育室や保育内容の充実に期待したい。</p>		
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳児未満（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>他のクラスとの交流を持てるよう、園内散歩を実施されている。</p> <p>遊びや基本的な生活習慣の自立については、保護者と連携を図り子どもが自分でしようとする気持ちを尊重されている。</p> <p>安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育室や保育内容の充実に期待したい。</p>		
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳児以上の保育において、養護と教育が一体的に展開されるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>発達や友達との関わりに配慮し、異年齢交流の機会等集団での活動をもつようにされている。遊びを中心とした興味関心のある活動を取り入れ、各年齢に即した目標を持ってクラス担任を中心として連携を図られている。</p> <p>個性豊かに興味関心がある活動に取組め、友達と楽しめるような環境を整え、保育士が関わっていくよう保育室や保育内容の充実に期待したい。</p>		

A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p>障がいを持った子どもが子ども同士の関わりの中で共に成長できるよう、個々の指導計画をクラスの指導計画に関連付けられている。</p> <p>計画は職員同士連携を図り、周知しながら適切な対応が行われている。</p> <p>必要に応じ医療機関や専門機関に相談し助言を受け、発達支援が行われている。</p>		
A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>長時間保育は、年齢の異なる子どもが一緒になる為、0歳が安全に過ごせる場所を確保されている。</p> <p>長時間保育での遊びの内容について、担当保育士が知らせ、おやつを提供されている。</p> <p>子どもの状況は保育士間の引き継ぎを行い、クラス担任と保護者の連携が取れるよう配慮されている。</p> <p>長時間保育の子どもが、1日の生活の連続性を配慮し、ゆったりと楽しめる環境作りに期待したい。</p>		
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>小学校教員が毎年来園し、年長児との交流会をもち、小学校への期待を膨らませ就学までに必要なことを話されている。</p> <p>また、小学校との交流会に参加し、子どもが小学校以降の生活について見通しを持てるようにされている。</p> <p>小学校への継続性は、夏休みに小学校教員に訪問頂き様子を見てもらい、保育要録を送られている。</p> <p>気になる子どもは訪問・文書にて保育の継続性に配慮されている。</p>		
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>健康管理マニュアルが作成されており、それに則り、職員への周知と何かあれば組織的に対応するシステムが構築されている。</p> <p>保護者には入園のしおりで病気、感染症、投薬依頼書等を周知し、早期の対応を組織的に実施されている。</p> <p>救急救命法とAED講習は全職員受講しており、AEDの設置もある。</p> <p>乳幼児突発死症候群（SIDS）の掲示、呼吸確認方法、救急法等は保護者参加で研修されている。</p> <p>薬の確認を毎日、保護者から職員に手渡ししてもらい看護師か園長が薬を配布、投薬依頼書にもとづきサインをされている。</p>		

A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>健康診断、歯科検診、フッ化素洗口（4.5歳児希望者）が実施されており、検診結果等は保護者に伝え、必要な方は受診や治療を勧め子どもの健康管理を自主的に促されている。</p>		
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	a
<p>ガイドラインや米子市のマニュアルに沿った対応が行われている。</p> <p>毎年小児科医師による職員へのエビペン使用の研修を実施され、アレルギーのある子どもへの対応について周知徹底が図られている。</p> <p>医師からの「除去食指示書」「除去解除指示書」に従い実施されている。</p> <p>アレルギー食については、月1回保護者との献立のついでにの打合せを管理栄養士により実施される等、保護者と連携をもち、職員と保護者と共通理解のもと安全管理に留意されている。</p> <p>除去食については、盛りつけ後ラップをかけ、クラス・氏名を記入、別トレーにて配膳されている。場所は少し離し、混ざらないようにシクラス担任が対応し、机を別にして食事されている。</p>		
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>米子市共通の献立となっている為、「最近、特に野菜中心の副菜が中心で、メインがない」印象の給食が多くなり、見た目に寂しい場合等がある。</p> <p>週2回程度、保育所独自で果物等を追加されている。おやつは市販のものが出されている。</p> <p>給食はアレルギー児童がいるので、職員により配られるが、メニューの発表は当番となっている園児により行われている。</p> <p>毎月食育会議を行い、食事を楽しめるよう配慮されており、新しい取り組みとして、淀江地区では初めておやつクッキングを実施される予定である。</p> <p>給食の献立については、心や体を育てる食育の面からも以前の慣習にとらわれず、保育所の子どもが楽しめる内容の検討や工夫を早急に期待したい。</p>		
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>衛生管理マニュアルに基づき、施設全体で安心安全の食事を提供されている。</p> <p>公民館で地域の方が季節の郷土食を作られる時に声を掛けてもらい、郷土の行事食に触れ、交流する機会も持たれている。</p> <p>園庭での焼き芋パーティー、桜のお花見を実施し季節感を大切にされている。</p> <p>子どもの嗜好やアレルギーの様子を知るために、クラス担任に聞き、献立に取り入れられている。</p>		

## A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日常的には連絡帳や送迎時に家庭との情報交換が行なわれている。</p> <p>その他、参観日を3日設け、個人懇談やクラス懇談会が実施されている。園生活や子どもの様子を見る機会と捉えているが、保育のねらいや保育内容との関わりなどは十分伝えていない面もある。保護者の理解を得る機会として今後に期待したい。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日々のコミュニケーションを図り保護者との信頼関係を築くようにされている。</p> <p>保護者対応について、クラスリーダーや管理職の助言が受けやすいよう、日頃から職員間のコミュニケーションが図られている。</p> <p>相談者が周囲を気にせずゆっくりと聞ける多目的室も用意されており、園長を中心に有効活用されている。</p> <p>保育所の特性を生かし、一時保育も実施されているが、保育所の特性を生かした地域からの依頼や要望があれば対応する予定もある。</p>		
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>虐待の権利侵害の兆候を見逃さないよう早期発見に努めており、関係機関とも連携を図り組織的に対応する仕組みは整備されている。</p> <p>虐待マニュアルが作成しているものの、職員の認識が低いも見られるため、更なる周知に期待したい。</p>		

## A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 職員の資質向上		
A⑳	A-3-(1)-①保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年間の目標について中間・期末評価が行われている。</p> <p>少数の職員は、自己評価を定期的実施し、専門性の向上に役立てられている。</p> <p>大多数職員は、個々の記録や職員間の話し合いにより主体的に保育実践の振り返り、指導計画を通して園長、主任保育士、リーダーが確認されている。</p> <p>保育の質の向上と意識の向上を図る上で、保育士等の自己評価を保育所全体の保育実践自己評価につなげていくことに期待したい。</p>		